

## 東北大学環境科学研究科小坂分室を利用して

筑波大学大学院生命環境科学研究科 林謙一郎

本年8月25日より29日まで、4泊5日の日程で筑波大学地球学類の3年次学生11名を引率し、東北地方北部の地質巡検を実施しました。大学院生1名と教員2名を加えた総勢は14名で、移動にはレンタカーなどを使用しました。初日は東北新幹線水沢江差駅に集合し、旧赤金鉱山、宮守超塩基性岩体、岩手山焼走り溶岩流、松尾鉱山廃水処理施設、北鹿地域黒鉱鉱床関連露頭、男鹿半島の第三紀層序などを観て、最終日は秋田駅で解散しました。奥羽山脈を横断する行程ですが、各種岩石、地層、鉱床などの多様な産状を学生に観察させることができました。2日目の宿泊には小坂分室を利用させていただきました。事前の情報では、夕食は裏庭でバーベキューをするのがお勧めだと聞いていましたが、途中の行程で時間が掛かり、また小坂に着いてから道に迷うなど段取りが悪く、分室に到着したのが夕刻遅い時間になったので、バーベキューは断念し資源機構構内にあるレストラン青銅館で夕食を採りました。翌朝の朝食は事前にコンビニにおにぎりなどを注文しておりましたので、お湯を沸かして味噌汁やお茶を飲む程度で短時間に済ませました。8月末の小坂は例年だと夜間は冷え込むのかも知れませんが、今年は猛暑の名残が続いており睡眠時に寒さを感じることはありませんでした。一行には女子学生が5名含まれ、トイレや入浴のことなど多少心配しておりましたが、不満や問題は全くありませんでした。

翌日は資源機構金属資源技術研究所で黒鉱鉱石などの展示を観た後に、小真木鉱床の露天掘り跡を訪れました。現地は緑化工事中で、それに伴い新たな露頭が出来ており、黄鉄質の鉱石を観ることが出来ました。私は小真木鉱床へはこれまで数回行ったことがあります。現地で鉱石を観ることができたのは今回が初めてで、学生には絶好の機会であったと思います。緑化工事は今年中に完了してしまうでしょうから、小真木鉱床の産状を見学するのは今回が最後の機会かもしれません。

小坂分室のように格安（無料）で泊まれる施設は、とくに学生にとって大変有難いといえます。分室は数名がある程度の長期間滞在することを念頭に置いた施設だと思いますが、今回のように10数名でも大きな問題はない事が分かりました。機会があればまた利用させていただきたいと思います。



大館市梨坂採石場にて